

**日本貨物鉄道株式会社  
第1回、第2回社債(一般担保付)(グリーンボンド)**

**レポート  
(2023年1月末時点)**

# 日本貨物鉄道第1回、第2回社債(一般担保付)(グリーンボンド) プロジェクト概要及び資金充当にかかるレポーティング(2023年1月末時点)

## 適格事業の概要

東京レールゲートEAST  
(クリーン輸送・グリーンビルディング)

## 資金充当状況

全額既充当: 200億円  
※調達資金のうちリファイナンスの割合: 43%



### 建物概要

所在地	東京都品川区八潮3丁目1-3(地番) (東京貨物ターミナル駅構内)
敷地面積	76,493.40 m <sup>2</sup> (23,139.25 坪)
延床面積	174,404.85 m <sup>2</sup> (52,757.46 坪)
賃貸床面積(専有部)	147,014.49 m <sup>2</sup> (44,471.88 坪)
構造・階層	鉄骨造(一部CFT造)・地上5階建て
BCP	免震構造・72時間対応非常用発電機・24時間有人管理
施工者	株式会社フジタ
入居開始	2022年7月15日

- ・東京貨物ターミナル駅構内に位置するマルチテナント型物流施設となり、陸・海・空の結節点という絶好の立地条件を生かして新たな鉄道輸送需要を創出し、CO<sub>2</sub>削減に貢献します。
- ・屋上に設置された太陽光発電設備で、共用部電力を賄う程の電力を館内に供給するなど、様々な環境配慮型設備を導入しています。

## 日本貨物鉄道第1回、第2回社債(一般担保付)(グリーンボンド) 環境改善効果にかかるレポート(2023年1月末時点)

### 適格事業の概要

東京レールゲートEAST  
(クリーン輸送・グリーンビルディング)

### インパクト

- ・BELLS評価5つ星を獲得
- ・CASBEE Aランクを獲得
- ・貨物輸送量1トンキロ当たりのCO<sub>2</sub>排出量  
:21g-CO<sub>2</sub>/トンkm(2020年度)

#### CO<sub>2</sub>排出量

営業用トラックの

約 **10分の1**



貨物鉄道輸送のCO<sub>2</sub>排出原単位は営業用トラックの約10分の1であり、環境にやさしい輸送機関として注目されています。

#### 貨物鉄道輸送の CO<sub>2</sub>削減効果は

**3,524,000**  
t-CO<sub>2</sub>/年



貨物鉄道輸送が担う年間の輸送トンキロをすべて営業用トラックで運んだ場合と比較して、3,524,000t-CO<sub>2</sub>/年(2020年度実績)の削減効果があります。

#### スギ林のCO<sub>2</sub> 吸収効果に換算<sup>\*</sup>すると

東京都の

約 **1.83** 倍の面積  
(約 400,000ha)

※3,524,000t-CO<sub>2</sub>の排出削減(CO<sub>2</sub>固定吸収)を植林活動を通じて行う場合の森林面積。  
林野庁ホームページより、40年生のスギが1haに1000本立木していると仮定して計算。

**【ご参考】日本貨物鉄道第1回、第2回社債（一般担保付）（グリーンボンド）発行概要**

社債名称	日本貨物鉄道株式会社 第1回社債 （一般担保付） （グリーンボンド）	日本貨物鉄道株式会社 第2回社債 （一般担保付） （グリーンボンド）
発行年限	10年	20年
発行金額	100億円	100億円
利率	年 0.374%	年 0.849%
払込日	2022年3月17日	
債券格付	AA-(R&I)、AA(JCR)	
主幹事証券会社	みずほ証券、野村證券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券	
資金使途	東京レールゲートEAST建設に係る新規投資及び 既存投資のリファイナンスに充当	
グリーンボンド としての適格性	グリーンボンド・フレームワークに対する第三者評価としてJCRより 「JCRグリーンボンド・フレームワーク評価」の最上位評価である 「Green 1(F)」の評価を取得	